

R5.〇.〇 教科別授業改善研修会

小・中学校 総合的な学習の時間

群馬県教育委員会事務局
義務教育課 生徒指導係



本日の内容

- 1 令和5年度学校教育の指針「総合的な学習の時間で学びを深める授業改善のポイント」について
- 2 なぜこの授業改善のポイントなのか
- 3 授業改善のポイントを具現化するために

- 探究課題と出会う場面で、体験活動や専門家の話を聞く機会など、自分事として課題を捉えられるような活動を設定する
- 子どもの思いや願いをつなぐ学習過程や授業展開を工夫する
- 全教職員が協力して全体計画及び各学年の年間指導計画、単元計画などを作成し、互いの専門性や特性を発揮し合って実践していく校内推進体制を整える

1 令和5年度 学校教育の指針（総合）について

各教科等で**学びを深める**授業改善のポイント

探究課題と出会う場面において、**共通の体験活動や専門家の話を聞く機会**など、**児童生徒が自分事として課題を捉えられるような活動を意図的に設定**しましょう。

本日の内容

- 1 令和5年度学校教育の指針「総合的な学習の時間学びを深める授業改善のポイント」について
- 2 なぜこの授業改善のポイントなのか**
- 3 授業改善のポイントを具現化するために

2 なぜこのポイントなのか

1 令和5年度 学校教育の指針（総合）について

各教科等で学びを深める授業改善のポイント

探究課題と出会う場面において、共通の体験活動や専門家の話を聞く機会など、児童生徒が自分事として課題を捉えられるような活動を意図的に設定しましょう。

その1 繰り返し探究していくために、探究課題に対して魅力や問題点、ずれや隔たりを感じ、単元の課題が自分事になっていることが大切である。

その2 課題を自分でつくりだすために、地域の人やその道の専門家との交流が有効である。

その3 主体的な課題の解決につなげるために、学習意欲を高めるとともに、解決への具体的な見通しをもつことが大切である。

本日の内容

- 1 令和5年度学校教育の指針「総合的な学習の時間学びを深める授業改善のポイント」について
- 2 なぜこの授業改善のポイントなのか
- 3 **授業改善のポイントを具現化するために**

3 授業改善のポイントを具現化するために

① 探究課題の出会いと単元の課題の設定

② 子どもの思いや願いをつなぐ学習過程と授業展開

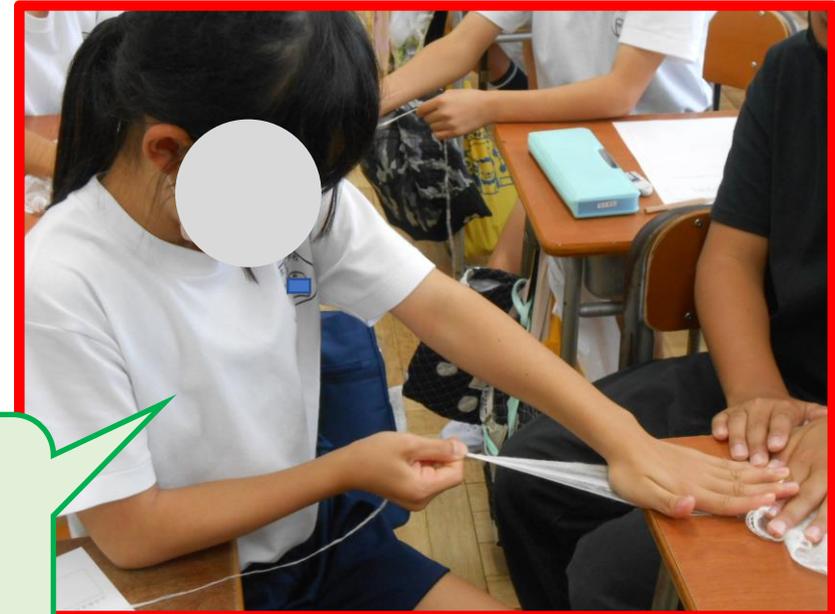
③ 校内推進体制の整備

④ 全体計画の見直しや修正

① 探究課題の出会いと単元の課題の設定



高山社跡との**出会い**
専門家からの話
現地調査



糸縫りとの**出会い**
体験活動



藤岡市の町づくりとの
出会い
商工観光課の職員から
の話



① 探究課題の出会いと単元の課題の設定

美土里小学校 ○年

自分事に

問題点・ずれ・魅力・可能性

「つかむ」過程

探究課題との出会い

- ・家族にインタビュー
- ・校区周辺の散策

ゴールイメージ

たくさんの人に訪れて欲しい。藤岡市の魅力を伝えたい。



藤岡市の古墳群との**出会い**
藤岡歴史館の見学

① 探究課題の出会いと単元の課題の設定

西中学校 ○年

自分事に

問題点・ずれ・魅力・可能性

「つかむ」過程

探究課題との出会い

- ・JA、給食センターの方からの話
- ・仲間との話し合い

ゴールイメージ

特産物を知って食べてもらいたい。特産物をPRしたい。



藤岡市の特産物との**出会い**

JA、給食センターの方からの話

① 探究課題の出会いと単元の課題の設定

「つかむ」過程

教師の意図的な働きかけが大切になってくる。

例) 美土里小〇年
指導と評価の計画

時	学習活動	知	思	主
1~8	<p>探究課題と出会い、単元の課題を把握する。 11時間</p> <p>【探究課題と出会う】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えや家族にインタビューした内容を伝え合う。(あ) (a) (b) (i) 美十里小校区周辺の史跡を散策する。(い) (う) (c) (ii) 			
9,10	<p>【単元の課題を把握する】</p> <ul style="list-style-type: none"> 散策したことを基に、美土里小校区のまちづくりの課題について話し合う。 藤岡市商工観光課の職員の話に基づき、藤岡市のまちづくりの現状を知り、自分たちの藤岡市に対するイメージとのずれに気付く。(iii) 藤岡市の広報パンフレットを見て、藤岡市のよさや課題を話し合う。 「調べた魅力を発信し、観光客を増やしたい」という児童の思いを基に、単元の課題を設定する。 <p>単元の課題 藤岡市にたくさんの人が訪れてくれるように、藤岡市の魅力を伝え広めよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元名を、学年全体で話し合って決める。 <p>単元名 藤岡の魅力 伝え隊</p>	①	①	
11	<p>【追究の見通しをもつ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 藤岡の魅力伝え隊の今後のおおまかな学習計画を立てる。 			

インタビュー
体験活動

観光課の職員の話
を聞き、今までの自分
との考えとのずれに気
付く

ゴールイメージ
を話し合い、
単元の課題を
設定する

単元名の設定ゴールイメージ
をキャッチフレーズ化

① 探究課題の出会いと単元の課題の設定

「総合的な学習の時間で楽しく探究！ リーフレット」

総合的な学習の時間で 楽しく探究！

児童生徒も 教師も

総合的な学習の時間の充実に向けた3つの視点

- ① 探究意欲が高まる課題の設定
- ② 楽しく探究できる学習過程の工夫
- ③ 探究をつないでいく授業の展開

ICT活用で広がる学び！ STEAM教育の要素で教科横断！ これからの社会に必要な力を！

実践例が少なくて… 毎年同じ内容でマンネリ化 教科書がないから…

総合的な学習の時間は、目まぐるしく変化する社会の中で、児童生徒がたくましく生きていくために必要な力を身に付ける上で、その重要性がますます高まっています。これまでの各学校での実践を生かしながら、児童生徒も教師もより楽しく探究できる時間として充実させ、深まりのある学習を展開しましょう。

令和4年2月 群馬県教育委員会義務教育課

① 探究意欲が高まる課題の設定

探究的な学習をより充実させていくためには、単元の課題が児童生徒にとって自分事となっていることが最も重要です。「つかむ過程」において、単元との出会いの活動を工夫し、児童生徒の探究意欲（ワクワク感）を高めていくことが大切です。以下の実践例を参考に、児童生徒が主体的に探究できるように設定しましょう。

「つかむ過程」の実践例（探究課題から単元名の決定まで）

探究課題	出会いの学習・活動→「思い」	単元の課題（ゴールイメージ）
ものづくり	地域の伝統工芸品を作ってみる →「自分たちなりにアレンジしたい」 「いい物を作って町をアピールしたい」	○○展覧会を開いて多くの人に見てもらおう ○○さんの店に置いてもらおう 作った○○の心を伝えてほしい
地域防災	災害の種類と特徴、被害者数を調べる →「なんとなしなまや」「人ごとじゃない」	○○災害のための防災マップを作ってみよう 避難所開設の訓練をしよう
食文化	群馬の有名な食材や料理を調べる →「オリジナル○○を作って町おこしだ」	オリジナルメニューを地域の食産品に提案しよう できるだけ多くの人に知らせよう
環境	林間学校等で群馬の自然の豊かさを体験する →「この自然を守り続けたい」	森林や動物を守るための看板やポスターを作ろう 群馬の自然をPRする動画を制作しよう
キャリア	職業体験等から地域の課題を把握する →「大丈夫？」「もっと発展させよう」	地域が発展するためのイベント等を企画・立案し 市民役所等に提案しよう
福祉	地域の高齢者とふれあう →「元気であってほしい」「笑顔にしたい」	地域のお年寄りが笑顔になることをしよう 例：漫才・コント・落語・音楽・劇等
情報	プログラミング体験をする →「この技術で役立つことをしたい」	地域の魅力を発信するアプリを作成しよう

「と！あ！え！ず！昨！年！回！帰！…」で単元を始めるのではなく、授業の入替えなどをしながら共通理解を図るための準備期間として、GW明けくらいから単元を始めるという工夫も

② 楽しく探究できる学習過程の工夫

これからの社会に必要な力を身に付けるためには、INPUT重視（即ち学習）の学習過程を見直す必要があります。多くの学校で実践されている「調べ発信する型」を「思いを形にする型」に変えることでOUTPUT重視となり、より楽しく探究できる学習過程になります。

調べて発信する型

知りたい、調べたい
調べよう・やってみよう
わかったことをまとめよう
発信しよう

調査活動（INPUT）がメイン
活動の流れが単調
やりがいや達成感が得にくい

思いを形にする型

何とかなしたい、やってみよう
必要な情報は何か調べたい
やってみよう・作ってみよう
専門に見てもらい、改善したい
できたものを提案したい

形にする活動（OUTPUT）がメイン
活動の過程で専門家等と関われる
失敗を改善するチャンス
学びのやりがいや達成感が得られる

児童生徒の意識の流れ【STEAM教育（Science Technology Engineering Art Mathematics）】

【探究課題の設定】
どんな食べ物（料理）を広げようか。よきや特徴、問題点などを考えてみたい。【S・A】

【情報の収集】
インターネットを使って調べよう。地域の食品の店員さんにインタビューしよう。【S・A】

【整理・分析】
グラフや表でまとめよう。データの整理が出来た。【S・A・M】

【まとめ・表現】
どんな食べ物（料理）を広げようか。よきや特徴、問題点などを考えてみたい。【S・A】

【探究課題の設定】
地域の農産物を使った料理や農産物の活用方法を調べてみたい。【S・A】

【情報の収集】
農産物にインタビューしよう。好きな料理や料理方法をインタビューしよう。【S・A】

【整理・分析】
分かったことを整理しよう。オリジナルのメニューを考えてみたい。【S・A・M】

【まとめ・表現】
自分たちが考えたメニューを提案しよう。【S・A・M】

【探究課題の設定】
広まるといいと思うものはどうすればいいかな。【T・A】

【情報の収集】
自分たちが考えたメニューを比較しよう。自分たちの方法を決めよう。【S・T・E・A・M】

【まとめ・表現】
自分たちが考えたメニューを提案しよう。【S・A・M】

【探究課題の設定】
広まるといいと思うものはどうすればいいかな。【T・A】

【情報の収集】
自分たちが考えたメニューを比較しよう。自分たちの方法を決めよう。【S・T・E・A・M】

【まとめ・表現】
自分たちが考えたメニューを提案しよう。【S・A・M】

探究の4つのプロセス（①課題の設定 ②情報の収集 ③整理・分析 ④まとめ・表現）が繰り返されるように意識することが大切です。

③ 探究をつないでいく授業の展開

単元時間の授業の中では、**あめで・振り返り**が重要です。総合的な学習の時間を教師と児童生徒で作り上げていくために、導入や終末で児童生徒の思いを生かしながら、授業をつないでいくことが大切です。

授業の導入

①あめでの確認
「今日の授業は何をしましたか？」
「今日はどうですか？」と問いかけ、前時に決まっているあめでの確認をする。
②役割分担と活動方法等の確認
自分たちでできること、教師にしてもらうこと等の確認をして、主体的な活動を確保する。

授業の終末

①まとめ
「次は授業の振り返り」
②次の授業の見直し
「次の授業は何をしたい？」と問いかけ、児童生徒と話し合ったことを次時のあめでにつなげる。
③振り返り
自分たちが決めたこと、頑張ったこと、次時に向けての意欲等を自由に記述させる。

児童生徒の思いをベースに授業を作ると、活動や話し合いが行き詰まることもあります。全てが児童生徒任せにならないように、教師がタイミング良く助言したり問い直したりすることが重要です。その際に意識することは以下の2点です。

◎目的意識…何のための活動なのか？
◎相手意識…誰に向けての活動なのか？

児童生徒も教師も楽しく探究するためのチェックリスト

- 探究課題がふざわいかどうか、職員全体で確認し、全体計画を見直しているか
- 単元の課題が、実社会や地域の課題を解決するものであるか、また、自分事ワクワクするものになっているか
- 単元のゴールイメージが明確になっていて、目的意識と相手意識があるか
- 探究のプロセス（①課題の設定 ②情報の収集 ③整理・分析 ④まとめ・表現）が発展的に繰り返される学習過程になっているか
- INPUTよりOUTPUTを重視した活動になっているか
- 各教科等の学習内容やSTEAM教育の要素と関連付けることで探究が深められているか
- 児童生徒にとっても教師にとっても、学・習・ぶ・喜・び・や・楽・し・さを感じられる学習になっているか

① 探究課題の出会いと単元の課題の設定

① 探究意欲が高まる課題の設定

SDGsの視点を持たせたいですね。

～「つかむ過程」にストーリーをもたせる実践例～

① 探究課題の確認（事前検討）

学年職員で今年度の総合について話し合う。

今年は、新しい探究課題に挑戦してみませんか！



② 出会いの学習・活動で思いを持たせる

児童生徒が思いを実感できる学習や、活動を意図的に設定する。

<児童生徒の思い>

- 「助けたい、変えたい」 (問題点)
- 「すごい、紹介したい」 (魅力)
- 「意外だ、おかしいぞ」 (ずれ)
- 「思っていたのと違う」 (隔たり)

③ ゴールイメージを話し合う

児童生徒と教師が話し合ってゴールイメージを共有し、自分事となる単元の課題を設定する。



④ 単元名を決める

単元の課題やゴールイメージを、キャッチフレーズ化して単元名を児童生徒と一緒につくる。



※ リーフレット 探究意欲が高まる課題の設定参照

① 探究課題の出会いと単元の課題の設定

探究課題	出会いの学習・活動→「思い」	単元の課題（ゴールイメージ）	単元名
ものづくり 町づくり	地域の伝統工芸品を作ってみる →「自分たちなりにアレンジしたい」 「いい物を作って町をアピールしたい」	〇〇展覧会を開いて多くの人に見てもらおう 〇〇さんの店に置いてもらおう 作った〇〇を〇〇に置いて使ってもらおう 等	作ろう！私たちだけの〇〇
地域防災	災害の種類と件数、被害者数を調べる →「なんとかしなきゃ」「人ごとじゃない」	〇〇災害のための防災マップを作って配ろう 避難所開設の訓練をしよう 等	地域防災リーダーになろう
食文化 町づくり	群馬の有名な食材や料理を調べる →「オリジナル〇〇を作って町おこしだ」	オリジナルメニューを地域の食堂に提案しよう できるだけ多くの人に知らせよう 等 ※リーフレットの実践例を参照	広がれ！ぐんまのうんまい〇〇
環 境	林間学校等で群馬の自然の豊かさを体験する →「この自然を守り続けたい」	森林や動物を守るための看板やポスターを作ろう 群馬の自然をPRする動画を作成しよう 等	守り育てよう！群馬の自然
キャリア 地域経済	職業体験等から地域の課題を把握する →「大丈夫？」「もっと発展させよう」	地域が発展するためのイベント等を企画・立案し、市役所等に提案しよう 等	〇〇市役所 中学生の未来課
福 祉	地域の高齢者とふれあう →「元気でいてほしい」「笑顔にしたい」	地域のお年寄りが笑顔になることをしよう 例：漫才・コント・落語・音楽・劇 等	元気・笑顔拡散プロジェクト
情 報 町づくり	プログラミング体験をする →「この技術で役立つことをしたい」	地域の魅力を発信するアプリを作成しよう 等	アプリで活性！ 〇〇町

② 子どもの思いや願いをつなぐ学習過程と授業展開

美土里小学校 ○年

「つかむ」過程

探究課題との出会い

- ・家族にインタビュー
- ・校区周辺の散策

ゴールイメージ

たくさんの人に訪れて欲しい。藤岡市の魅力を伝えたい。

自分事に

問題点・ずれ・魅力・可能性

「必要な情報は何か調べたい」
「やってみたい・作ってみたい」
「専門家に見てもらい、改善したい」
「伝えたい」……

本時

伝える相手や発信方法のよさと、伝えたい魅力を関連付ける

② 子どもの思いや願いをつなぐ学習過程と授業展開

西中学校 ○年

「つかむ」過程

探究課題との出会い

- ・JA、給食センターの方からの話
- ・仲間との話し合い

ゴールイメージ

特産物を知って食べてもらいたい。特産物をPRしたい。

自分事に

問題点・ずれ・魅力・可能性

「必要な情報は何か調べたい」
「やってみたい・作ってみたい」
「専門家に見てもらい、改善したい」
「伝えたい」……

本時

特産物の魅力が伝わる特集ページ作成に向けての見通しをもつ

② 子どもの思いや願いをつなぐ学習過程と授業展開

授業の様子（藤岡市立美土里小学校）

最終ゴール

「藤岡市の古墳、商店街、イチゴの魅力を伝えたい」

「インタビューをして藤岡の魅力度を調べたい」



藤岡市魅力インタビュー

県外 ●●●	県内 ●●●●●
弥生姫を食べたことがある？ ●●●●●	ない？ ●●●●●
藤岡の古墳に行ったことがある？	ない？ ●●●●●●●●
藤岡の商店街に行ったことがある？ ●	ない？ ●●●●●●●●

② 子どもの思いや願いをつなぐ学習過程と授業展開

授業の様子（藤岡市立西中学校）

最終ゴール

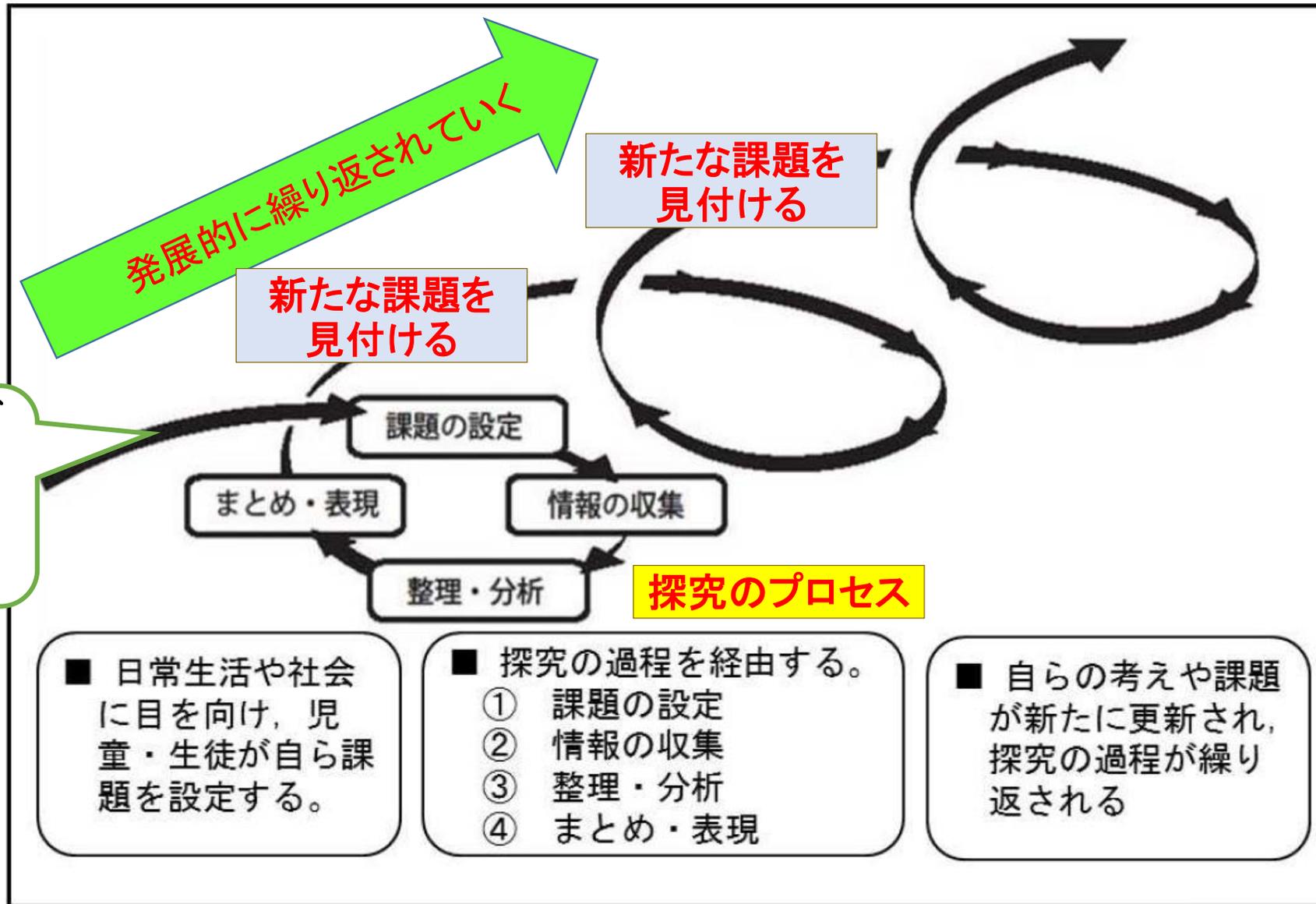
「藤岡市の特産物の魅力を伝えたい」

「これまで調べてきた藤岡市の
特産物の魅力を伝えるために
効果的な発信方法を知りたい」



② 子どもの思いや願いをつなぐ学習過程と授業展開

総合的な学習の時間における生徒の学習の姿



② 子どもの思いや願いをつなぐ学習過程と授業展開

児童生徒の思いをつなぐ授業の導入と終末

授業の導入

① めあての確認

「前の時間は何をしましたか？」
「今日はどうしますか？」と問いかけ、
前時に決まっているめあての確認をする。

② 役割分担と活動方法等の確認

自分たちでできること、教師にしてもらおうこと等の確認をして、主たる活動の時間を確保する。

授業の終末

① まとめ

めあてに対する達成度や進捗状況の確認をする。

② 次の授業の見通し

「次の授業は何をしたい？」と問いかけ、児童生徒と話し合ったことを次時のめあてにつなげる。

③ 振り返り

気付いたこと、分かったこと、頑張ったこと、次時に向けての意欲等を自由に記述させる。

前回は何したっけ？
今日は何をする？

今日はどうだった？
次何したい？

<探究的な学習における教師の役割>

コーディネーター（思いをつなげる・調整する）

サポーター（やる気を持たせる・伴走する）

② 子どもの思いや願いをつなぐ学習過程と授業展開

コーディネーターとしてのアドバイス

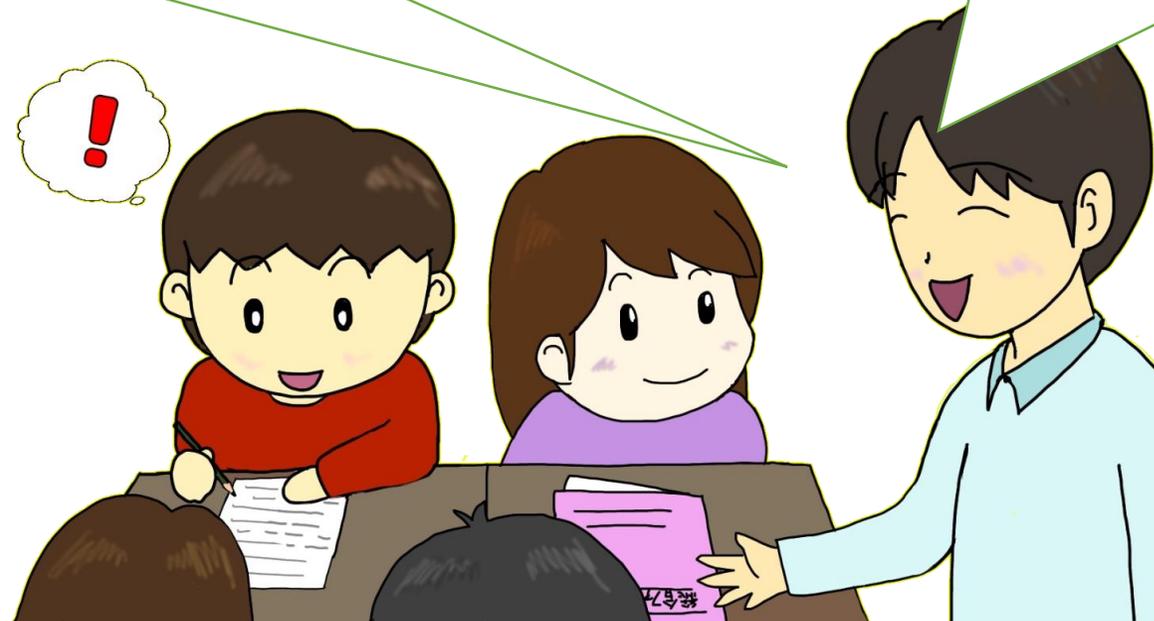
何のための
活動だったかな？

目的意識



誰のためにやって
いるのかな？

相手意識



② 子どもの思いや願いをつなぐ学習過程と授業展開

「追究する」過程

児童生徒の思いや願いをつないでいく

例) 藤岡西中〇年
指導と評価の計画

専門家からの話を基に、
新たな課題を設定
発展的に！！

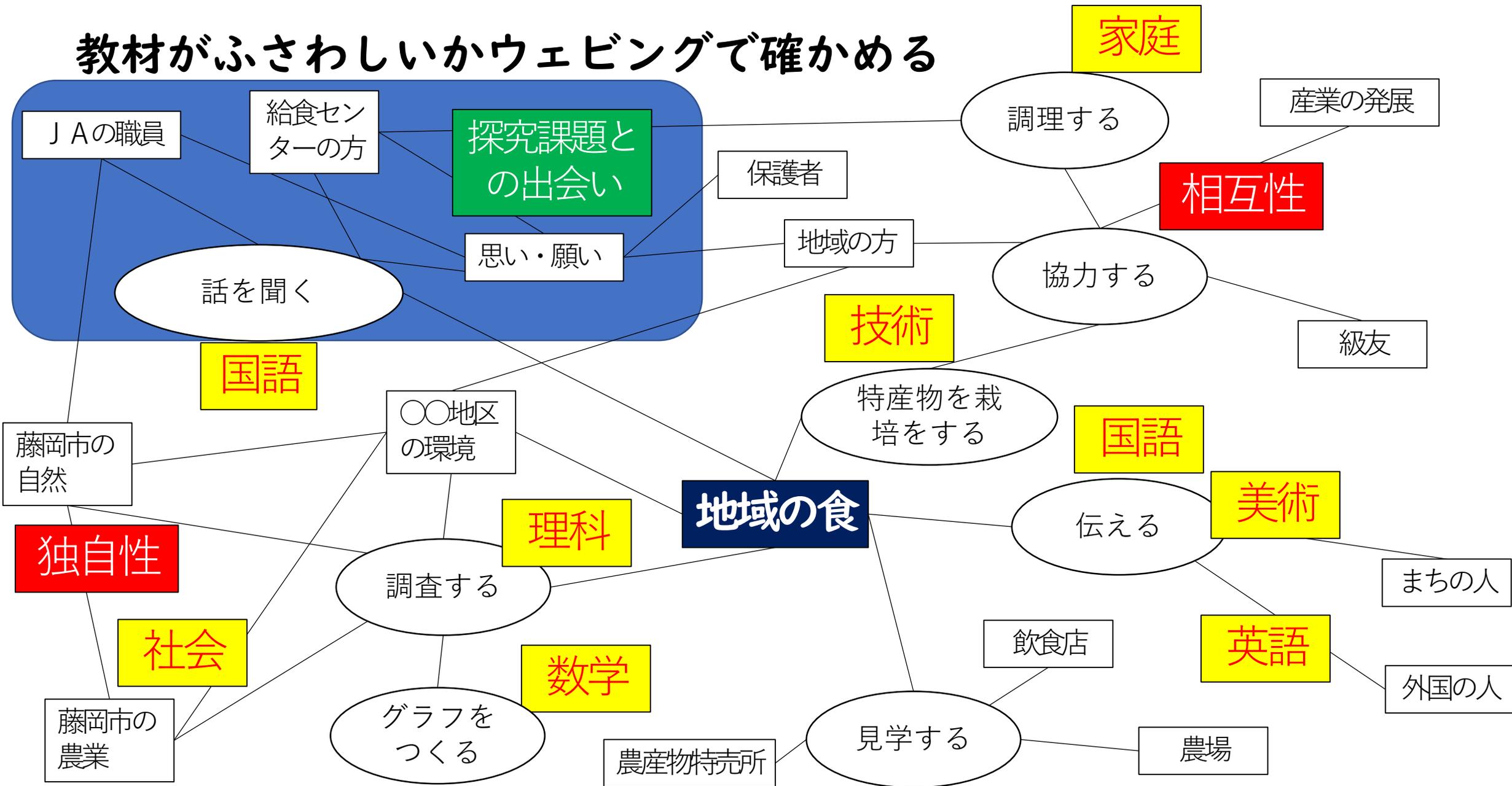
子どもの思いや願いをもと
に学習活動を進める。
※場合によっては、柔軟に
変更することも必要

外部の大人からの評価
→ 成果や課題の発見

追究 する ②		各班で、新たな課題を見だし、継続して追究する。 9時間
	10	【課題の設定】 ・ J Aの広報の方、印刷会社の方からPR活動の取組を聞く。(i) <u>(iii)</u>
	11	・ 特集ページの作成に向けて、 <u>必要な作業を考えて特集ページを構想する。(本時)(い)</u>
	12~14	【情報の収集】 ・ 班ごとに、特集ページの作成に向けて必要な情報を調査する。(い) (a)
	15,16	【整理・分析】 ・ 収集した情報を整理し、特産物の特徴や魅力がより伝わるPRの方法について考える。(い)(a)
	17,18	【まとめ・表現】 ・ 調査した特産物の特徴やよさを特集ページとしてまとめて、 <u>PR活動する。(a)</u>
まとめ る	19,20	単元全体の学習の振り返りをする。 2時間 ・ 学習成果について、保護者や地域の方に回答いただいた <u>アンケート</u> から、自分たちの取組を評価する。(う)(え)(i)(ii)(iii)(iv) ・ 単元を振り返り、考え方が変わったことや成果、課題をまとめる。(う)

探究課題の確認（事前検討）

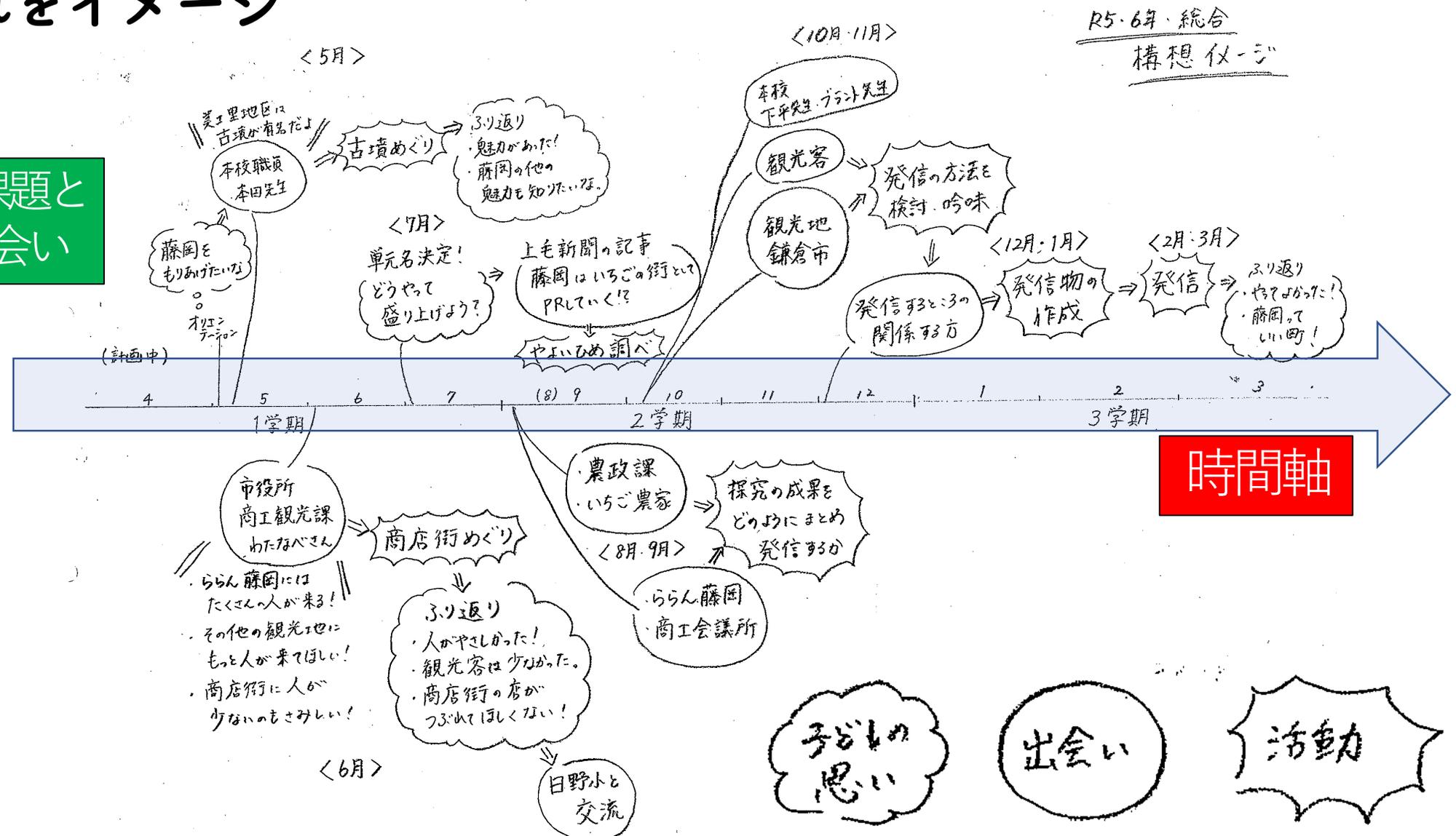
教材がふさわしいかウェビングで確かめる



探究課題の確認（事前検討）

学習活動、学習対象（ヒト、モノ、コト）、子どもの思いをもとに 1年間の流れをイメージ

探究課題と
の出会い



③ 校内推進体制の整備

校内研修の様子（藤岡市立西中学校）

単元に入る前に、学年ごとに分かれて、
教材の可能性について、ウェビングで検討



③ 校内推進体制の整備

学習指導要領解説

小学校P132
中学校P128

各学校の教育目標の実現に当たっては総合的な学習の時間が重要な役割を果たすことを全教職員で理解することが欠かせない。その上で、**校長の方針に基づき**、総合的な学習の時間の目標が達成できるように、**全教職員が協力して全体計画及び各学年の年間指導計画、単元計画などを作成し**、**互いの専門性や特性を発揮し合って実践していく**校内推進体制を整える必要がある。

③ 校内推進体制の整備

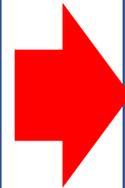
【前提条件】

各学校の教育目標の実現に当たって、総合的な学習の時間が重要な役割を果たすことを全教職員で理解

ア 校長先生の方針

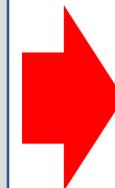
校長先生から自分の学校のビジョンを全教職員に説明

教師が知恵を出し合ったり、相談し合ったりできる体制や雰囲気づくり



イ 指導計画の作成

全教職員が協力して全体計画及び各学年の年間指導計画、単元計画などを作成



ウ 実践

互いの専門性や特性を發揮し合って実践

児童生徒の学習の進行によって、支援者は変化

③ 校内推進体制の整備

授業の様子（藤岡市立西中学校）

学年職員の役割分担

全体の進行、班別協議の進行、机間支援、
生徒の発言の記録、情報機器の操作など



③ 校内推進体制の整備

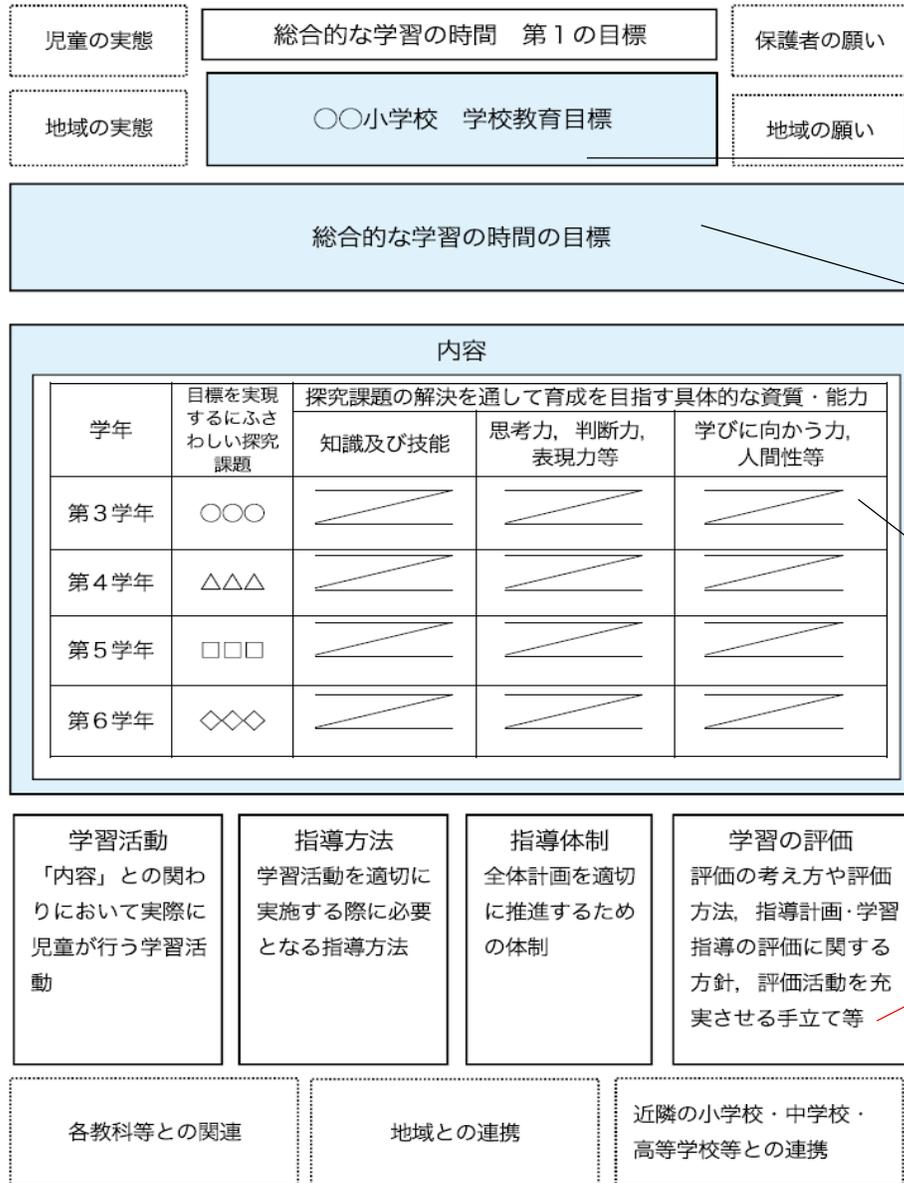
授業の様子（藤岡市立美土里小学校）

栄養教諭からの話

「つかむ」過程で、大豆の秘密について、形を変えること、歴史、栄養素など、様々な角度から話を聞いた。



④ 全体計画の見直しや修正



総合的な学習の時間 第1の目標

各学校における教育目標

各学校において定める目標

各学校において定める内容

「目標を実現するにふさわしい探究課題」	「探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力」
---------------------	------------------------------

① 必須の要件として記すもの

② 基本的な活動内容や方針等を概括的に示すもの

③ その他、各学校が全体計画を示す上で必要と考えるもの

各学校において定める目標

学校教育目標 例) 藤岡市立西中学校

未来を切り開く力をもった生徒の育成

- (1) 自ら学び考える生徒の育成 (かしこく)
- (2) 心豊かでおもしろいやりのある生徒の育成 (やさしく)
- (3) 健康でたくましい生徒の育成 (たくましく)

平成29年度改訂小学校学習指導要領

第1目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。【知識及び技能】
- (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。【思考力、判断力、表現力等】
- (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】

実現を目指す子どもの姿を具体的に書く

	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
自ら学び考える生徒の育成 (かしこく)	地域の特徴やよさ	解決に向けて仮説を立てる 調査して得た情報を基に考える	自ら社会に参画しようとする
心豊かでおもしろいやりのある生徒の育成 (やさしく)	人々の努力や工夫	解決に向けて協働する	地域に目を向ける
健康でたくましい生徒の育成 (たくましく)	支え合う必要性	根拠を明らかにする	持続可能な社会を実現するための仕方を考える

各学校において定める目標 例) 藤岡市立西中学校

具体化 重点化 付加

【総合的な学習の時間の目標】

探究的な見方・考え方を働かせ、地域の人・もの・ことに関わる総合的な学習を通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、主体的・自律的・創造的に自己の生き方を考えることができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。

知識及び技能

地域の人、もの、ことに関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさに気づき、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることに気付く。

思考力、判断力、表現力等

地域の人、もの、ことの中から問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことを、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。

学びに向かう力、人間性等

地域の人、もの、ことについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとする態度を育てる。

各学校において定める内容

何について学ぶか

例) 藤岡市立美土里小学校

【内容】<目標を実現するにふさわしい探究課題と探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力>

		3年	4年	5年	6年
目標を実現するにふさわしい探究課題		地域の環境と保全に関わる人々	地域の伝統とそれに携わる人々の思い	地域の産業とそれに携わる人々の思いや願い	地域の未来と自分たちの生活
探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力	知識及び技能	知識の概念化	地域には季節ごとの自然の素晴らしさがあることを知るとともに、それを守る人々が存在していることを理解することができる。	地域には多様な伝統があることを知るとともに、伝統を受けついできた人々の思いや、その伝統と自分たちの生活がつながっていることを理解することができる。	地域には多様な産業があることを知るとともに、その産業に携わり働く人々の思いや、その産業と自分たちの生活がつながっていることを理解することができる。
		技能の身体化	調査活動や情報収集の手順を身に付け、必要に応じて発揮することができる。		調査活動や情報収集、表現活動の手順や方法を身に付け、目的や意図に応じて活用することができる。
		探究的な学習のよさの理解	学習対象と自分たちの生活がつながっていることを理解することができる。		各教科等の知識及び技能を活用した探究活動により、学習のつながりを見いだすことができる。
思考力、判断力、表現力等	課題の設定	自分の関心から課題を設定し、解決方法を考えて追究することができる。		地域の人々等の思いをふまえて課題を設定し、解決方法や手順を考え、見通しを持って追究することができる。	
	情報の収集	目的に応じた対象を決め、自分たちの身近なところから情報を集めることができる。		目的に応じて手段を選択し、情報を収集したり、必要な情報を選んだりすることができる。	
	整理・分析	問題状況における事実や関係を、事象を比較したり分類したり、数量などで客観的に比較したりして、特徴を見付けることができる。		視点を明確にして問題状況における事実や関係と、整理した情報を関連付けたり、多面的に考察したりして理解し、多様な情報の中にある特徴を見付けることができる。	
	まとめ・表現	相手に応じてわかりやすくまとめ、表現することができる。		相手や目的、意図に応じ、工夫してまとめ、表現することができる。	
学びに向かう力、人間性等	主体性・協働性	課題の解決に向けて目的意識をもち、身近な人と力を合わせて探究活動に意欲的に取り組もうとする。		課題意識をもって、自分なりの方法を工夫したり、他者と協働したりしながら探究活動に取り組もうとする。	
	自己理解・他者理解	自分のよさや自分にできることに気付くとともに、自分と異なる意見や考えがあることに気付き、相手の立場を理解しようとする。		探究活動を通して、自分の生活を見直し、自分の特徴を理解しようとするとともに、異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しようとする。	
	将来展望・社会参画	自分と地域とのつながりに気付き、地域の活動に参加しようとする。		探究活動を通して、自分と実生活・実社会の問題の解決に取り組もうとする。	

どのようなことができるようになるか

各学校において定める内容

「目標を実現するにふさわしい探究課題」

- ① 探究的な見方・考え方を働かせて学習することがふさわしい課題であること
- ② その課題をめぐって展開される学習が、横断的・総合的な学習としての性格をもつこと
- ③ その課題を学ぶことにより、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくことに結びついていくような資質・能力の育成が見込めること

三つの課題	探究課題の例
横断的・総合的な課題 (現代的な諸課題)	地域に暮らす外国人とその人たちが大切にしている文化や価値観 (国際理解)
	情報化の進展とそれに伴う日常生活や社会の変化 (情報)
	身近な自然環境とそこに起きている環境問題 (環境)
	身の回りの高齢者とその暮らしを支援する仕組みや人々 (福祉)
	毎日の健康な生活とストレスのある社会 (健康)
	自分たちの消費生活と資源やエネルギーの問題 (資源エネルギー)
	安心・安全な町づくりへの地域の取組と支援する人々 (安全)
	食をめぐる問題とそれに関わる地域の農業や生産者 (食)
	科学技術の進歩と自分たちの暮らしの変化 (科学技術)
	など
地域や学校の特色に応じた課題	町づくりや地域活性化のために取り組んでいる人々や組織 (町づくり)
	地域の伝統や文化とその継承に力を注ぐ人々 (伝統文化)
	商店街の再生に向けて努力する人々と地域社会 (地域経済)
	防災のための安全な町づくりとその取組 (防災)
	など
児童の興味・関心に基づく課題	実社会で働く人々の姿と自己の将来 (キャリア)
	ものづくりの面白さや工夫と生活の発展 (ものづくり)
	生命現象の神秘や不思議さと、そのすばらしさ (生命)
	など

各学校において定める内容

「探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力」

知識及び技能

思考力・判断力・表現力等

学びに向かう力・人間性等

① 概念的知識の獲得
(相互性・多様性・有限性等)

① 課題の設定

① 自己理解・他者理解
自他を尊重する

② 自在に活用することが可能な技能

② 情報の収集

② 主体性・協働性
自ら取り組んだり力を合わせたりする

③ 探究的な学習のよさの理解

③ 整理・分析

③ 将来展望・社会参画
未来に向かって継続的に社会に関わろうとする

④ まとめ・表現

3観点、10項目

3観点、10項目		探究課題の解決を 3年
知識及び技能	知識の概念化	地域の環境と保全に関わ 地域には季節ごとの自然の さがあることを知るとともに、 る人々が存在していることを理 ことができる。
知識及び技能	技能の身体化	調査活動や情報収集の手順
	探究的な学習のよさの理解	学習対象と自分たちの生活が
	探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力	
思考力、判断力、 表現力等	課題の設定	自分の関心から課題を設定し
	情報の収集	目的に応じた対象を決め、目
	整理・分析	問題状況における事実や関 的に比較したりして、特徴を
	まとめ・表現	相手に応じてわかりやすくまと
学びに向かう 力、人間性等	主体性・協働性	課題の解決に向けて目的意 的に取り組もうとする。
	自己理解・他者理解	自分のよさや自分のできるこ に気づき、相手の立場を理
	将来展望・社会参画	自分と地域とのつながりに気

まとめ

- 探究課題と出会う場面で、体験活動や専門家の話を聞く機会など、自分事として課題を捉えられるような活動を設定する
- 子どもの思いや願いをつなぐ学習過程や授業展開を工夫する
- 全教職員が協力して全体計画及び各学年の年間指導計画、単元計画などを作成し、互いの専門性や特性を発揮し合って実践していく校内推進体制を整える